

但馬地方におけるムカシトンボの ジャゴケ類への産卵

山崎喜彦

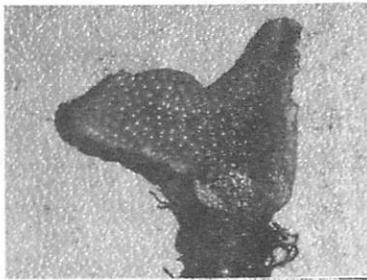
関西トンボ談話会の兵庫県北部地方の第一回トンボ調査が行われた1990年6月3日、氷ノ山麓の関宮町布滝で、渡辺庸子氏により、ジャゴケ類の一種へのムカシトンボの産卵が確認された。発見者の了解のもとに、小生が代わって報告する。

但馬地方でのムカシトンボの産卵植物は、オタカラコウ・ワサビ・ウバミソウ・ウバユリ・フキの5種類が、すでに報告されている（山崎，1990）。しかし、ジャゴケ類への産卵は、小生の知り得る限りでは、この発見が但馬においては初めての記録である。

ジャゴケ類への産卵が確認された場所は、氷ノ山登山道のアズキ転がしルート
の布滝付近を流れる溪流である。ジャゴケ類への産卵は、この溪流の流床に位置する巨岩に付着した一葉体だけで確認された。一葉体への産卵数は、残念ながら確認しなかった。

なお、この場所では同じ日に、ムカシトンボによるウバミソウ5本への産卵が、渡辺・山崎により確認された。他の産卵対象となる植物としては、フキがわずかに生育していたが、オタカラコウやワサビは確認されなかった。

また、幼虫の生息調査も山崎が行ったが、確認されなかった。



ムカシトンボによる
ジャゴケ類の一種への産卵痕
関宮町 布滝，
1990-VI-3

参考文献

山崎喜彦（1990）糸井川を中心とした床尾山系におけるムカシトンボの調査・観察記録，IRATSUME 13・14:53-69.